

その他の清掃・と畜業における飛来・落下災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
3	8~9	工場内にて分別作業中、はねた塩ビパイプが左肩に当たり、転倒した。	63	1~9
5	14~15	事務所倉庫内で、鋼製のラック（棚）を2名で組み立てていた。1名が電話の対応で離れた為、1人で長さ約4m、重量20~30kg位の金属製の框を、ラックの最上段（地上3~4m位）に設置し、外れ止めの金具を取り付け地上に降り、別作業に移ろうとしたところ、頭上より落下し、右前腕に接触した。本来2人作業すべきところを1人でしたこと、外れ止め金具の確認が不十分であったことが原因と考えられる。	52	1~9
7	8~9	ゴミ集積所に於いて、収集車両へ不燃物ゴミの積込作業を行っていたところ、パッカー内で破碎されたガラス片が飛散し、その一部が被災者の左眼に当たり負傷。直ちに作業を中断。ゴミ組成に由来する危険性（破碎後の飛散等）に対する予防策を講じていなかったことや、使用者側の安全教育不足等が当該事故の主原因と史料。	50	50~99
12	14~15	校舎教室の清掃作業中、音楽教室内の物を搬出時に、教台（約横1.5m、縦50cm、約8kg、木製）を2人で持ち上げて動かした際、重量があったためバランスを崩し、片方が手を滑らせ、被災者の左足親指の上に落下し、左足親指裂傷、先端の粉碎骨折となった。	45	30~49

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html